

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	峯村 清一
		全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4320 文化施設管理事業												
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100609 教育費・社会教育費・文化施設管理費											
	事業	010000 文化施設管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
須坂市文化会館、須坂版画美術館などの芸術文化施設を有効に活用した、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。						・須坂市文化会館、笠鉾会館ドリームホール、美術館等文化施設の管理運営は、指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう。 ・「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、芸術文化施設の充実を図る。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
・須坂市文化会館、笠鉾会館ドリームホール、美術館等文化施設の管理運営を文化振興事業団が行い、「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、芸術文化活動の充実を図る。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		195,847	195,498
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,878	147
一般財源		192,969	195,351
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,430.0	2,145.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,430.0	2,145.0
市民一人当たりの経費		3.8	3.8
総額		197,277.0	197,643.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,490	修繕料2,490
13節 委託費	177,919	設計委託料885、指定管理者委託料(文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅)176,850、その他委託料184
15節 工事請負費	0	工事請負1,232
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,438	14使用料及賃借料土地借上料15,143、18備品購入295

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,365	修繕料3,365
13節 委託費	176,850	指定管理者委託料（文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅）176,850
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,283	14使用料及び賃借料15,183、18備品購入100

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	文化芸術活動のため施設の維持管理は必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	指定管理者制度導入から10年以上が経過し、制度自体の理解を含む制度運用全体の見直しが必要。直営ではなく指定管理者制度を活用する目的を再確認のうえ、指定管理者に求める成果の水準設定が必要。指定管理者制度を効果的に運用していくためのノウハウが不足している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	指定管理者による管理内容の検討を進めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の老朽化が進み、大規模改修が必要となっており、今後の施設のあり方や財源の確保が課題となっている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
適切な施設管理運営や事業実施のため、文化振興事業団と連絡調整を密にし、今後の文化施設の管理のあり方を再検討する。		機能分散型総合博物館の分館となる施設もあり、まるごと博物館における中心的な機能を発揮するためにも、施設の位置づけを明確にして、更なる活用を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	